

こまバス的大幅減便 10月1日から

1日18便が9便に半減 朝7～8時台の便なし 夕方4時以降の便なし



小田急バス本社に共産党市議団が申し入れ

大幅減便

小田急バスは狛江市に対しこまバスの大幅減便を要望し地域公共交通会議で承認されました。

減便内容は、10月1日より、
現行1日18便から9便に半減します。午前7時、8時台、午後4時以降は便がなくなります。小田急バスは「運転手の確保が困難」としています。

こまバスは市民の大切な足

しかし、こまバスは2008年度運行以来、通勤・通学・通院・買い物など、市民の大切な足となっています。利用者からは「8時台の便で通院しています。なく



日本共産党
よっちゃん通信
2026. 8.15 285号

なったら病院に行けなくなります」「地域センターに行くのに利用。午後4時以降なくなると帰れなくなります」など切実な声が寄せられています。

小田急バスへ要請

8月4日、日本共産党市議団は小田急バス本社に、大幅減便の中止を要請しました。

小田急側は「運転手不足なので路線バスの方をキープしたい。やむを得ない対応」との説明でしたが「バスがなくなったら外出をあきらめざるを得ない」など、この間寄せられている声も紹介し、こまバスの便数維持を求めました。

松原市長に減便撤回と市民説明会開催を要望

狛江市は利用者に知らせず、意見も聞かずに減便を実施しようとしています。

日本共産党市議団は5日に、松原市長に「こまバス減便撤回と市民説明会の開催を求める要望書」を提出しました。

小田急バスが市に要望したダイヤ改定

現行	改定案 10/1 ~
6	
7 15 45	1
8 00 45 45 45	2
9 30 45	1 30 45
10 15 45	1 15 45
11 00 45 45 45	2 00 45 45 45
12 30 45	1 30 45
13 15 45	1 15 45
14 00 45 45 45	2 00 45 45 45
15 30 45	1 30 45
16 15 45	1 15 45
17 00 45 45 45	2 00 45 45 45
18 30 45	1 30 45
19 15 45	1 15 45
20 00	1 00
21	